

関係性精神療法セミナー

治療者の脆弱性

～トラウマ、ライフイベント、ナルシシズム～

このセミナー・シリーズは、2011年に第1回が開かれ、今年で第12回目を迎える。関係精神分析（関係論、関係性理論、関係性精神療法）は、対象関係論、サリバン派、コフート派、間主観性理論、自我心理学などを包括的に含み、現代のアメリカの精神分析の新しい流れを総括するものである。

これまで本セミナーでは、エナクトメント、動機づけシステム、フェミニズム精神分析、無意識的空想など、精神分析の根幹に関わるテーマを取り上げ、基本に立ち戻りつつ、新たに再検討してきた。これらのテーマは、ほかのセミナーでは取り上げられることの少ないテーマで、そこに本セミナーの独自性がある。

今年も、重要であるが普段あまり省みられることの少ないテーマを選んだ。患者の脆弱性のみならず、治療者の脆弱性についても検討することは、精神分析における相互性を考えるならば、避けて通ることはできない要所である。本セミナーでは、治療者の脆弱性について、トラウマ、ライフイベント、ナルシシズムなどの観点から論じる。この新しくも古いテーマについて十分に考えることは、初学者にとっても、臨床経験豊かな治療者にとっても、治療者としての自分を振り返る上で役立つことだろう。当日は、アンケートなどを用いながら、参加者と積極的に対話を進めていきたいと考えている。

- 参考文献：** 富樫公一著（2021）『当事者としての治療者—差別と支配への恐れと欲望』（岩崎学術出版社）
Togashi, K (2020) The Psychoanalytic Zero: A Decolonizing Study of Therapeutic Dialogues. New York & London: Routledge.
吾妻壮著（2019）『精神分析の諸相: 多様性の臨床に向かって』（金剛出版）
岡野憲一郎著（2018）『精神分析新時代—トラウマ・解離・脳と「新無意識」から問い直す』（岩崎学術出版社）
岡野憲一郎、吾妻壮、富樫公一、横井公一（2016）『臨床場面での自己開示と倫理』（岩崎学術出版社）

- ◆日 時：2022年7月3日（日曜日） 午前10時～午後3時
（進行具合により多少の延長も考えられます）
- ◆ところ： 全面的にオンライン（ZOOM）で行う。
- ◆発表者： 吾妻壮（上智大学）・富樫公一（甲南大学）・岡野憲一郎（京都大学）
- ◆指定討論： 長川歩美（A&C 中之島心理オフィス）
- ◆司 会： 岡野憲一郎、吾妻壮

- ◆受講料： 5,000円
- ◆定 員： 60名
- ◆申込方法： 参加申込書にご記入の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。
受講の可否は申込書に記載のメール宛にご連絡いたしますので、振込み先をご確認の上、受講料をお振込みください。

- ◆申込先： 〒160-0004 東京都新宿区四谷3-4 SCビル6階
小寺記念精神分析研究財団セミナー事務局 FAX 03-3350-9749
E-mail : kodera.kt@nifty.com

- ◆申込期限 2022年6月27日（月）

主催：小寺記念精神分析研究財団

No. _____

関係性精神療法セミナー参加申込書

「治療者の脆弱性」

2022年7月3日（日）

本参加申込書は、EメールまたはFAXにてお送り下さい。※Eメールの場合は、件名「7月3日開催セミナー申し込み」として、本文に下記必要事項をご記入下さい。

E-mail kodera.kt@nifty.com FAX03-3350-9749

〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-4SC ビル6階
小寺記念精神分析研究財団事務局

申込期間 6月27日（月）まで期間厳守

申込 月 日

フリガナ 氏名			(19 年生)
勤務先			
所属	職種	経験年	

(どちらかを○で囲んでください) 自宅 ・ 勤務先

連絡先 住所	〒		
自宅	電話	FAX	
勤務先	電話	FAX	

e-mail アドレス

参加費：5,000円

*先着順に受け付けます。参加の可否については、受付後順次申込書に記載のEメールアドレスに連絡いたします。その際振込先もご案内いたします。定員になりしだい締め切ります。

本セミナーをどのようにして知りましたか？該当する箇所に○を付けて下さい。

郵便 ・ ホームページ ・ メール ・ 知人の紹介 ・ その他 ()

※記載いただいた個人情報は、セミナーのご連絡及びご案内のみに使用いたします。